

て洲崎山と稱し、眞宗東派に屬する。貞享二年の由來書に、文明年中慶覺坊石川郡米泉に在住、夫より數代同所にあつたが、寛永十三年今の地へ移轉したとある。慶覺坊は即ち一向一揆の首魁であつた洲崎泉入道慶覺で、二代慶仙、三代慶敬、四代慶覺、五代眞清、六代弘慶と連續した。

キヨウカボウ 鏡花坊 ↓チドウ 智洞。

キヨウガンジ 教願寺 能美郡若原に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年三月寺號の公稱を許された。

キヨウガンジ 教願寺 河北郡竹橋に在つて、眞宗東派に屬する。

キヨウカンジ 慶願寺 鳳至郡金藏に在つて、眞宗東派に屬する。

キヨウカンジ 行動寺 能美郡白峰に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年二月寺號の公稱を許された。

キヨウキ 行基 行基は和泉國の僧である。元享釋書に、神龜二年行基白山に登り、泰澄を見て嬌然微笑すること曾て相識る者の如く、行基は愚に白山の靈應を問ひ、泰澄は詳かに之に答へたとある。眞偽は固より知り得ぬ。

キヨウキユウ 行休 ↓ダイキギヨウキユウ 大機行休。

キヨウギヨウシ 行々子 一冊。金澤の俳人梅室が京から歸郷した際、舊友相集つて興行した四卷の附合の外、發句をも集めて、金澤の寄老庵相突といふ著の編した集である。天保七年刊行。板元不明。

キヨウゲツロウチヨウウキ 曉月樓聽雨記 一冊。曉月樓詩稿が合綴せられて居る。聽雨

記は、著者岡野和が江戸に寓した時聞いた話と和文に綴つたもの。詩稿は享和二年以後の數年間に成つた五言絶句十三首、七言絶句五十八首、五言律詩十首、七言律詩五首、及び五言七言の古詩七首を収め、卷末に奉復公子某君書と寄痴龍翁富田君書の二文を添へてある。

キヨウゲンジンヨシ 享元慶餘志 十冊。享保・元文中に、稻宜義が庶物類聚を編した時の草稿で、領内から書き出さしめた物産の考證である。

キヨウコウジ 慶光寺 鳳至郡前波に在つて、曹洞宗に屬し、元和二年洞光寺七代玉田の建立である。

キヨウゴクノカタ 京極方 岡大納言基普の女。正保三年前田利常、家臣加藤新左衛門・武部久左衛門を京都へ上せて之を招き、九月二日小松に來着して侯の側室たらしめた。此の腹に鶴松が産したが、慶安三年五月廿八日稻垣三佑を嗣へて京極方を歸洛せしめた。後冷泉爲清の室となる。

キヨウサイジ 慶西寺 珠洲郡熊谷に在つて、眞宗東派に屬する。

キヨウサンド 京三度 ↓キヨウトチユウヅカヒ 京都申使。

キヨウシツジヨウシヨウ 慶室定紹 曹洞宗の僧。能登の人で、俗姓は長氏。越中光禪寺の明峰素哲に投じて出家受戒し、明峰寂後加賀大乘寺徹山旨歸に師事して印可を受けた。後周防に遊化し、鯖山の勝地に法幢山禪昌寺を創建して太守大内義弘の歸依を受けた。應永十四年六月廿日六十九歳にて寂。

キヨウウジャゴエ 行者越 鳳至郡輪島に在る。能登誌に「聖光寺の後山より袖の濱へ越る道を行き越といふ。むかし役の行者始めて通行せし道にて、今も石動山の衆徒此の道を越える故に、一名山伏坂とも呼べり。」と記す。

キヨウシユ 鳥首 ↓ゴクモン 獄門。

キヨウジユ 教授 藩侯明倫堂教職の主位にあるもの。その下に助教・訓導・訓蒙及び句讀師があつた。天保十年の學政修補以後この職が置かれた。

キヨウジュン 教順 順慶の子。童名徳壽。石川郡大桑善福寺に住し、大永元年五月二十七日寂、四十歳。その子教勝公名大藏卿、後を受けた。

キヨウシヨウイン 恭正院 大聖寺藩主第十代前田利極の法號。詳しくは恭正院仁應道儀大居士。

キヨウシヨウイン 匡章院 大聖寺藩主第十代前田利章の女典姫、即ち信濃松代侯眞田伊豆守信安夫人の法號。詳しくは匡章院端心治嚴大姉。

キヨウシヨウジ 教證寺 河北郡宇野氣新に在つて、眞宗東派に屬する。もと鉢伏に居たが、明治十一年一月今の地に轉じた。

キヨウシヨウジ 慶照寺 河北郡杉瀬に在つて、眞宗東派に屬する。初め金澤に居り、明治十一年河北郡津幡に移り、四十年四月今の地に轉じた。

キヨウシン 慶心 父は蓮心言惠。童名玉壽、公名民部卿。能美郡本連寺を襲ぎ、粟津又は津波倉に住した。天文十六年十一月十八日寂、五十三歳。

キヨウシン 匡津 ↓コカイキヨウシン

巨海匡津。

ギヨウジン 行尋 行尋は白山行者の徒である。白山記に、白山の靈の水のことを記して、その水を汲む道の右に一大石の高く時えて往復の煩をなすものがあつたから、行尋と號する。隨絶の行者が呪力を以て加持したら、金剛童子がかの石を投げのけた。この行尋は五つの不思議を現す行者であつたとしてある。しかしその時代は明らかでない。

キヨウシンイン 恭信院 加賀藩主第十三代前田齊泰の子純六郎の法號。詳しくは恭信院敏恵紹寛童子。

キヨウシンジ 慶信寺 珠洲郡北方に在つて、眞宗東派に屬する。

キヨウゼンイン 慶全院 金澤八坂雲龍寺の塔頭であつた。正保元年雲龍寺十代白翁和尚の弟子息庭長老の建立した所である。明治六年無檀無住の寺院廢止の令によつて破却した。

キヨウゼンジ 教專寺 鹿島郡花見月に在つて、眞宗西派に屬する。明治十二年八月越中新湊から移轉し來つたものである。

キヨウゼンジ 慶專寺 羽咋郡上河合に在つて、眞宗東派に屬する。

キヨウゼンジ 教善寺 能美郡數瀬に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年三月寺號の公稱を許された。

ギヨウセンジ 行專寺 鳳至郡浦又に在つて、眞宗東派に屬する。

ギヨウセンジ 行善寺 能美郡小松に在つて、眞宗東派に屬する。

ギヨウゼンジ 行善寺 石川郡北安田に在つて、日蓮宗に屬する。山號は妙林山。寺記